

平成30年 第15回宇都宮市教育委員会会議録

- 1 日時 平成30年9月21日（金） 開始時刻 午前9時00分～
- 2 場所 宇都宮市役所13階 教育委員室
- 3 出席者 水越教育長，大場委員，伊藤委員，山田委員，清島委員
- 4 説明員 菊池教育次長，栗原学校教育担当次長，秋山教育企画課長，
田上教育企画課長補佐，富山総務担当主幹，猪瀬学校管理課長，
鈴木学校教育課長，荒木学校健康課長，増淵生涯学習課長，
松本文化課長，掛布スポーツ振興課長，
荒井国体推進課長，田中教育センター所長
- 5 書記 横塚総務担当副主幹，吉澤生涯学習課長補佐，本田係長，関係長，
渡邊総括，分田主事
- 6 傍聴者 1名
- 7 議題
 - (1) 審議事項
 - 議案第38号 宇都宮市学校教育問題対策専門委員会委員の委嘱について
 - 議案第39号 宇都宮市文化財保護審議委員会委員の委嘱について
 - (2) 報告事項
 - 報告第54号 平成30年9月議会一般質問の概要について
 - 報告第55号 教育行政相談の内容と対応について
 - 報告第56号 平成30年度教育委員会主要事業の進行管理について
 - 報告第57号 隣接校との通学区域弾力化等による平成31年度入学者の募集について
 - 報告第58号 平成30年度「全国学力・学習状況調査」，「とちぎっ子学習状況調査」の結果について
 - 報告第59号 「学校における働き方改革」に係る本市の取組について
 - (3) その他
 - ① 「第13回うつのみや食育フェア」の開催について
 - ② 平成30年度第1回宇都宮市視聴覚ライブラリー運営委員会の結果について
 - ③ うつのみや版親学と子どもの情報誌「こどもるっくる」第15号について
 - ④ 平成30年度宇都宮市民大学（前期講座）実施状況について
 - ⑤ 第24回うつのみや百人一首市民大会，蓮生記念第5回全国競技かるた宇都宮大会の開催について
 - ⑥ 第20回うつのみやジュニア芸術祭の開催について
 - ⑦ 「かがやく わたしの 写真展」の開催について
 - ⑧ 宇河地区特別支援学級児童生徒作品展について
- 8 議事の内容

教育長 ただいまから、平成30年第15回宇都宮市教育委員会を開会する。
本日の会議録署名委員は大場委員、清島委員とする。
平成30年第12回及び第13回教育委員会の会議録についてご意見などあるか。

(特になし、全員了承)

教育長 それでは、伊藤委員、山田委員、清島委員にそれぞれ署名をお願いします。
(会議録に署名)

教育長 議案第38号、議案第39号、報告第55号は、「個人情報が含まれているもの」であるため、非公開としてよろしいか。

(全員賛成)

教育長 全員賛成なので、これについては非公開とする。

教育長 本日は、所用により、教育企画課長が一時退席するため、先に報告第56号を説明することとし、退席中は、代理として、教育企画課長補佐が説明する。

教育長 それでは、報告事項に入る。

報告第56号 平成30年度教育委員会主要事業の進行管理について説明願う。

【説明要旨(前半)】

教育企画課長

- 事務局の事務執行にかかるチェック機能の強化を図るため、平成30年度教育委員会主要事業の8月末までの進捗状況について報告する。
- 全ての事業について、当初予定どおり進んでいる。
- 主な内容については下記のとおり
- 教育企画課
 - 人づくりの推進
「子どもの手本となる50の言葉」の策定に向けた検討や、うつのみや人づくりフォーラムの効果的な開催に向けた検討を進めている。
 - 育英事業の見直し
国・県等の動向や利用者ニーズを踏まえた見直しについて庁内での検討を行っている。
- 学校管理課
 - 新設小学校整備の推進
校舎新築工事が10月に着手予定であり、地域との円滑な調整を進めていく。
 - 学校施設の老朽化対策の計画的推進
御幸小学校体育館・プール改築工事やコンクリートコア抜き調査を行っている。
 - 小中学校のトイレ洋式化の計画的推進
 - ・ 校舎トイレ改修工事について、小学校9校、中学校9校で実施している。

- 学校教育課
 - 小中一貫教育・地域学校園の推進
小中教員相互乗り入れ授業や各担当指導主事による地域学校園訪問などを行っている。
 - 学力の向上
7月に初めてのイングリッシュキャンプを実施したほか、8月に中学校英語教員研修を実施した。
 - 心の教育の推進
小学校「特別の教科 道徳」の授業が開始しており、7月には中学校道徳科の教科書採択を行った。
 - 学校における働き方改革の推進
本日の報告第59号にて説明
 - いじめ防止対策など児童生徒指導の強化
6月にいじめゼロポスターを募集し、1,000点を超す応募があった。
- 学校健康課
 - 食育の推進
7月に宮っ子ランチ開発のための調査研究委員会を開催した。
 - 体力向上の推進
元気っ子チャレンジに新種目3×3を新設した。
 - 適切な部活動運営
5月より部活動指導員派遣事業を開始した。

教育長
大場委員

前半の説明は以上だが、質疑などはあるか。

子どもの手本となる50の言葉について、子ども以上に大人への普及は難しいだろう。活用方策の検討をぜひお願いしたい。人づくりフォーラムにおいても関連講演会を行うということなので、大勢の方の参加をしていただくために宣伝を願いたい。また、育英事業の見直しについて、非常に関心がある。

清島委員

学校管理課のうち、新設小学校整備や学校施設の老朽化対策は、引き続き、良い方向に進めていただきたい。トイレの洋式化については、避難所等を考えて、学校全体の洋式化も進めればよいと考える。

伊藤委員

道徳科の評価をちょうど行っているかと思うが、後期に向けて、その検証を行っていただきたい。

山田委員

「地域学校園」という言葉は学校側から見た言葉のように思う。一般市民の理解が得られていないのではないか。学校や魅力協との認識の差があり、市民向けに周知されるよう分かり易い説明があると良い。

教育長

確かに、地域学校園については制度開始時から魅力協との不一致があるようだ。もう一度徹底する必要がある。

教育企画課長

【説明要旨（後半）】

- 生涯学習課
 - 市民の主体的な学習活動の促進・支援
生涯学習センターにおけるインターネット環境整備の検討を行っていく。

- 家庭教育支援の推進
訪問型家庭教育支援の調査・検討に向け、6月から市内での検討を進めている。
- 宮っ子ステーション事業の充実
放課後子ども教室実施校区の拡大について事業説明を行ったほか、子どもの家等事業のあり方検討を進めている。
- 市民の読書活動の推進と読書環境の整備
図書館情報システムの更新に向け、新システムサーバー機器等の賃借入札を実施した。また、中央図書館については、平成30年12月から平成31年2月まで、改修工事を行う予定である。
- 文化課
 - 歴史文化基本構想の推進
エイト・ストーリーの普及啓発として、広報紙に紹介記事の連載を開始したほか、文化財展示5施設周遊マップの作成・配布を行った。
 - 日本遺産を通じた大谷石文化の保存・活用の推進
5月の日本遺産認定以降、認知度向上に向けた業務委託等を行っている。
 - 市民芸術祭・ジュニア芸術祭の開催
周年記念事業の検討を進めている。
 - 宇都宮伝統文化継承事業の推進
宮っ子伝統文化体験教室を募集し、16校から応募があったところであるが、現時点では4校で実施している。
 - 百人一首事業の推進
10月開催予定のうつのみや百人一首市民大会について、参加者が年々増加しているところであり、876人159チームから参加申込みがあった。
- スポーツ振興課
 - 「ひとり1スポーツ」の推進
地域スポーツクラブの新設に向け、地域との意見交換を実施している。
 - スポーツ施設の整備
北西部地域への体育施設整備について、基本計画策定に向けた基礎調査業務委託に係る入札参加審査委員会を開催した。
- 国体推進課
 - 第77回国民体育大会開催に向けた準備
常任委員会や総会を開催した。9月に二荒山開館に執務室を移転した。
- 教育センター
 - 特別支援教育の推進
特別支援教育に係る教職員研修の実施や、特別支援教育や相談窓口等の周知に係る便りの配布を行った。
 - 不登校対策の強化
不登校対策チームによる不登校数増加の要因についての分析を行っている。

- 教職員の資質・能力の向上
平成30年度宇都宮市教職員研修計画に基づく研修を実施している。
- 情報教育の推進とICTの効果的な活用
プログラミング教育の推進に向け、宇都宮大学と連携するなどして教職員研修会を実施した。

教育長
伊藤委員

説明は以上だが、質疑などはあるか。

今週末、「ブラタモリ」で宇都宮を取り上げているが、非常に有力なツールであり、発信力のある媒体なので、著作権などの問題もあるかと思うが、宇都宮市としても有効に活用してほしい。

大場委員

訪問型家庭教育支援の検討状況について、訪問の手法も含め、どの程度進捗しているのか。

生涯学習課長補佐

庁内の関係課から意見を聞いているところであるが、方向性としては、他部局においても、地域に訪問して活動されている方々がいるので、連携を図っていきたいと考えている。また、新たな家庭教育支援者の養成に力を入れていくとともに、地域の方々からも情報を得て訪問する仕組みを検討しており、来年度は、モデル的に取り組んでいくことを考えている。

伊藤委員

宇都宮の3×3の取組を広げるためにも、国体で3×3を取り上げてほしいと思うが、どのように考えているのか。

国体推進課長

まだ具体的には考えていないが、少なくとも、14競技については、市民への普及方法を考えていきたい。

清島委員

宇都宮城周辺を散策したが、立て札だけが残っているだけであった。このように実物が現存しないところは、IT技術を用いて当時の様子がわかるようにビジュアル化されると良いだろう。

山田委員

保護者に対しての特別支援教育に関する理解促進として、PTAなどを活用してほしい。不登校については、不登校になる前の対策と、不登校になってからの対応の両方に重きを置いていただきたい。また、若手教員の育成に今後とも注力していただきたい。

教育長

それでは、報告第56号を承認してよろしいか。

(全員了承)

教育長

報告第56号を承認する。

教育長

報告第54号 平成30年9月議会一般質問の概要について説明願う。

【説明要旨】

総務担当主幹

○ 平成30年9月議会では、22件の質問があった。

教育長

説明は以上だが、質疑などはあるか。

伊藤委員

基本的に、議員の控室や図書室に、道徳や英語の教科書は置いてあるのか。置いていないのであれば、議員が閲覧できるようにしてはどうか。

学校教育課長

議会事務局と相談する。

清島委員

最先端科学機器を活用した授業の実践について、実際にどう教えたらいいかということを考えると難しいと思う。調査研究しているとあるが、実際にどうなのか。

教育センター所長

最先端技術に触れることは大切であるが、実際にそういった授業を取り入れてい

くのは難しいので、活用方法について調査研究していくとした。まずは、プログラミング教育をしっかりとやっていきたい。

教育長

それでは、報告第54号を承認してよろしいか。

(全員了承)

教育長

報告第54号を承認する。

教育長

報告第57号 隣接校との通学区域弾力化等による平成31年度入学者の募集について説明願う。

【説明要旨】

教育企画課長補佐

○ 「隣接校との通学区域弾力化制度」及び「小規模特認校制度」による、平成31年度入学児童募集については、平成30年10月1日から平成31年1月15日までを募集期間とし、応募者数が募集人数を超える場合は、抽選により入学承認者を決定する。

教育長

説明は以上だが、質疑などはあるか。

伊藤委員

弾力化制度の実績を教えて欲しい。

教育企画課長補佐

昨年度については、小学生11名、中学生2名となっている。以前、河内中学校において制度を適用していた際には、1クラス程度の移動があったが、現在は制度を適用していないため、これを除くと例年通りである。

伊藤委員

小学生11名というのは、1つの学校にまとめてではなく、各校の人数を合わせてということか。

教育企画課長補佐

そうである。

教育長

それでは、報告第57号を承認してよろしいか。

(全員了承)

教育長

報告第57号を承認する。

教育長

報告第58号 平成30年度「全国学力・学習状況調査」、「とちぎっ子学習状況調査」の結果について説明願う。

【説明要旨】

学校教育課長

○ 教科に関する調査の結果について、「全国学力・学習状況調査」では小6・中3ともに全教科で、「とちぎっ子学習状況調査」では小5算数を除く、小4・小5・中2の全教科で、平均正答率が全国や県の平均を上回っている。

○ 児童生徒のアンケート結果では、授業に対して集中して臨み、主体的に取り組む態度が良好であるなど、肯定的な回答が多かった。一方で、授業を振り返る活動を行っているという意識については課題が見られた。

○ 学校アンケートでは、授業において児童生徒が考えたり表現したりする学習の充実が図られているなど、肯定的な回答が多かった。一方で、話し合いにおいて生徒が考え伝える力について、中学校では課題が見られた。

○ 市教委の今後の取組については、学習課題の設定から振り返りまでの学習過程と手立ての例を示した「宇都宮モデル」の活用を推進する。学校においては、「宇都宮モデル」を活用して、児童生徒の考えを深めたり広げたりする話し合いの設定や考えをつなぐ補助発問、児童生徒が自らの学びや成長を自覚する振り

返りの指導を工夫し、授業改善を図る。

教育長
伊藤委員

説明は以上だが、質疑などはあるか。

漢字や計算など、基本的な知識や技能の一部に定着が不十分なものが見られるとのことだが、宇都宮市だけの傾向なのか。パソコンやスマホの普及による全国的なものなではないのか。

学校教育課長

全国的な傾向ではあるかもしれないが、ここに挙げた内容は、全国や県と比べて、本市が劣っている部分である。これをカバーするために、学校において、少しの時間を利用して学習訓練を行い、家庭学習の充実を図る必要があると考えている。自分の手で書き調べることを基本として、継続して指導しなければならないと考えている。

伊藤委員

私も同様に考えるが、その他に親の意識が低いこともあるのではないかと。漢字の書き取りをする意味を、親が考えていないのではないだろうか。そうではないことを意識づけ、家庭に対する働きかけが必要なのではないかと。

大場委員

本市の子どもは、家庭学習に問題があると言われていたが、改善されてよかった。また、書き取りは授業中にできないので、家庭学習でさせるのがよいと思った。

清島委員

アンケートの結果で、授業を振り返る活動を行っているという意識について課題があるとのことだが、残念だ。予習をして、授業を受けてここで終わるのではなく、復習まですることが大切である。

学校教育課長

ここに挙げた内容は、家に帰ってからの復習ではなく、授業中における振り返りである。教員に対しても、そうした時間を設けるということをして「宇都宮モデル」とし、徹底するように周知を図っているところである。限られた授業時間の中で上手く展開をしていくということで、教師側の工夫が更に必要であると考えている。今後も学校訪問の際に確認して行きたい。また、授業における振り返りについては、子どもにも意識をつけていきたい。

伊藤委員

正答率が高い児童生徒の傾向について、教師が意識して努力している結果であると思う。

山田委員
教育長

子どもがその単元のねらいを理解できるように、授業を推進していただきたい。

それでは、報告第58号を承認してよろしいか。

(全員了承)

教育長

報告第58号を承認する。

教育長

報告第59号 「学校における働き方改革」に係る本市の取組について説明願う。

【説明要旨】

学校教育課長

- 学校と市教委が一体となり、「業務改善の取組の推進」と「勤務時間を意識した働き方の推進」の両輪で「学校における働き方改革」を進めていく。
- 本市が推進する取組のうち、平成30年10月以降に開始する取組は次のとおり。
 - 業務改善の取組の推進
 - ・ 私立中学等の調査書、県立高と私立高の調査書の統一に向けた、関係機関への働きかけ
 - ・ 地域やPTAが中心となった周年行事の実施促進

- ・ 青少年巡回指導における教職員の参加回数の縮減
- ・ 学校用グループウェアを活用した効率的なアンケート機能の導入
- 勤務時間を意識した働き方の推進
 - ・ 本市「部活動方針」に基づく取組の徹底
 - ・ 勤務時間を把握するシステムの全校導入
 - ・ 勤務時間外の連絡対応のための体制整備
 - ・ 働き方改革の取組に対する保護者・地域等への理解と協力依頼
 - ・ 月1回以上の学校リフレッシュデーの全校実施

教育長
伊藤委員

説明は以上だが、質疑などはあるか。

宇大教育学部との連携だが、宇大生のボランティア活動に対して、宇大が学生に単位を認定するということがよいか。

学校教育課長

今年度から、大学2年生のボランティア活動を対象に単位を認定することとなった。現在は選択制となっているが、必修化についても検討していただけるように連携していきたい。その他に、教育実習生に実習期間以外にも学校行事に参加してもらうための働きかけを大学にお願いするなど、学習成果を上げるために学生に学校に来てもらいたいと考えている。

伊藤委員

地域の大学であるため地域の子どもたちの役に立ってもらいたい。対象は教育学部ということではよろしいか。

学校教育課長

単位認定については教育学部であるが、ボランティアという観点では、広く働きかけをしていきたい。現時点で、他学部の学生がどのくらい協力いただいているかは確認できていない。

大場委員

勤務時間外の連絡対応のための体制整備とあるが、留守電の活用と考えてよろしいか。

学校教育課長

警察や消防、救急に関することについては連絡体制が取れているところであるが、子どもが帰宅していない等の問い合わせなど、保護者が緊急で連絡をとりたい場合の体制について、留守電の活用も含めて検討を進めている。連絡体制の整備を行ううえでは、保護者や市民への周知も必要だと考えている。

清島委員

地域やPTAが中心となった周年行事の実施促進について、現在のところ、周年行事などは学校が主体となっているが、今後は、地域や父兄が主体的にやっていくということか。

学校教育課長

ここで言う周年行事は、創立記念などの学校が中心となった実行委員会主催を想定しており、このような大きな行事に対して、これまでも地域やPTAの協力をいただいているところであるが、更なる協力を求めていくということである。周年行事の実行委員会の組織の中で、地域やPTAが中心となっていただくという事である。

清島委員

地域やPTAが主体ということでは、行事自体をやりたくないという意見も出てくるのではと思う。学校側の行事は学校でやっていただく方がよいのではないか。

教育長
山田委員

いただいたご意見も十分に踏まえ検討していく。

地域の方々に協力いただくうえで、ボランティアの「活用」という表現だと上からのイメージがあるので、「活かした取り組み」とか表現を変えてはどうか。

教育長

それでは、報告第59号を承認してよろしいか。
(全員了承)

教育長

報告第59号を承認する。

教育長

次に、「その他」の案件になるが、その他の案件については、資料提供のみであるので、後ほどご覧いただきたい。

【公開できる案件の終了】

教育長

これからの議案は非公開の案件であるため、傍聴者等の退席をお願いする。

【傍聴者の退席，非公開審議の開始】

- 議案第38号「宇都宮市学校教育問題対策専門委員会委員の委嘱について」
⇒ 決定
- 議案第39号「宇都宮市文化財保護審議委員会委員の委嘱について」
⇒ 決定
- 報告第55号「教育行政相談の内容と対応について」
⇒ 承認

【非公開審議の終了】

教育長

その他委員の皆さまから何かご意見などあるか。
(特になし)

教育長
事務局

最後に、事務局から連絡事項をお願いする。

- 連絡事項説明（教育企画課長補佐）
今後の会議等の日程について
- ・ 9月21日（金） 午後4時～ 総合教育会議
 - ・ 10月19日（金） 午後1時30分～ 定例会

教育長

以上をもって、本日の委員会を閉会とする。

終了時刻 午前10時45分

署名委員

署名委員
